

◎議長（鈴木敏正議員）

次に、塩原未知子議員の討論を許します。塩原議員。

〔3番 塩原未知子議員 登壇〕

◎3番（塩原未知子議員）

平成27年度一般会計予算について、賛成の立場で討論いたします。

このたびの予算は、元気尾花沢にふさわしい、一人一人の健康と長寿を願う福祉と市民サービス、ならびに子育て支援に手厚いものであり、当局には大変感謝しております。ただし、財産管理費委託料の新庁舎建設工事実施計画委託料6,255万円と平成26年度補正予算の基本設計に関して、尾花沢市新庁舎建設基本計画業務プロポーザル審査会を傍聴した一人として、第2次審査の審査会の結果、決定された優秀者のプレゼンテーションとヒアリングの対応が乏しい印象がありました。示された一次審査の企画書においても、提案者の主張が強く、発注者の意向を汲んでもらえるのか不安を感じた部分が多い事業者が選ばれたことは、大変心配しております。さらに議員全員で協議した3回の緊急全員協議会での討論においても、議員各位及び市長からも不安である意見が出されました。理由の一つには全く今回のプロポーザル審査とは分離しているはずですが、現在でも福原中学校の屋根の修理問題が解決しておりません。豪雪尾花沢、雪国の中で最も大切な屋根の基本的な設計部分の問題が、未だ、解決できずにいる設計者を、このたびの選考委員会では優秀者として選んだわけです。他市町村での庁舎建設の基本計画は一般的にじっくりと時間をかけ、十分に市民や議会、関係者との協議の上、実施計画、施工などを行っており、1年から2年、それ以上かけて住民の意向を汲み、庁舎建設と同時にまちづくりから見直し定住人口を増やしている市町村もございます。これから新庁舎建設検討部会、執行窓口部会、新エネ防災部会、まちづくり部会などを設置し、市議会や建設技術検討委員会、住民ワークショップを随時開催し、実施計画段階で大幅な変更が生じ、予定価格を超えないよう設計者の資格、実施などの一定の条件を加えた上で、しっかりと不安のない実施計画者を決定することを望みます。オリンピックまでの期間、他市町村の大型建設に関しては予定価格を大きく超える事業費になっている例が多く、尾花沢市の庁舎建設を進めるにあたっては、基本計画業務委託契約に関する付帯事項をしっかりと示し、事業費負担の抑制と将来負担の軽減に努めてください。

また、急激な人口減少が予想される本市であります。

急ぎ基本計画を作成することは、将来に大変不安を残すと感じております。プロポーザル選考会で選ばれた優秀者の提案にもありました。市民、職員の意見を反映させる参加型の設計プロセスを守り、官民共同のまちづくりに大きな力になるよう、十分に市民とワークショップを重ね、納得いく新庁舎建設となりますよう期待し、私の賛成討論を終わります。